

第 9 章	社会(地理)	名前:	日 付	No.02
	人口			

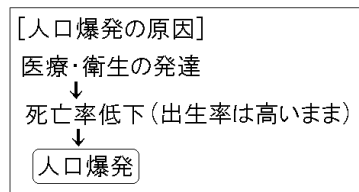
[問題 1]

発展途上国で人口増加率が高いのはなぜか、「多産多死」「死亡率」という言葉を用いて説明せよ。

[解答欄]

以前は多産多死であったが、医療の充実等によって子どもの死亡率が下がり多産少死へと変化したため。

[解説]



発展途上国では、労働力の確保のために多くの子どもを産み出生率が高かった。

以前は乳児死亡率も高かったため、人口増加率はそれほど高くなかった。しかし、医療施設の充実や衛生知識の普及によって、乳児死亡率が大幅に低下したため、人口が急増した。

[問題 2]

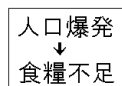
発展途上国の人口急増の影響として考えられることを、次のア～エから 2 つ選べ。

- ア 食料の生産が追いつかずに、飢餓に苦しむ人々が増えると考えられる。
- イ 工業が発達し、1 人あたりの国民所得が先進諸国に近づくと考えられる。
- ウ 農地や放牧地の無理な開拓により、砂漠化や熱帯林の破壊が進むと考えられる。
- エ 総人口に占める老年人口の割合が高くなり、産業が衰えると考えられる。

[解答欄]

ア、ウ

[解説]



人口爆発がおこっているのはアジアとアフリカであるが、特にアフリカにおける人口急増が著しい。

1950 年に 2 億 2400 万人だったアフリカの人口は、2012 年には 10 億 8400 万人へと約 4.8 倍になった。さらに、2050 年には約 20 億人になると予想されている。国連は 2003 年に、発展途上国の中でももっとも遅れた最貧国の基準を定めたが、最貧国 50 か国のうち 34 か国がアフリカ地域にある。

このようなアフリカの国では、人口の急増に食糧増産が追いつかず、飢餓に苦しむ人々が少なくない。また、農地や放牧地の無理な開拓により、砂漠化や熱帯林の破壊がすすみ、食糧不足は今後さらに深刻化することが心配されている。

(統計出典)「世界国勢図会 2013/2014」P52

[問題 3]

次の国を何というか。それぞれ漢字 5 字で答えよ。

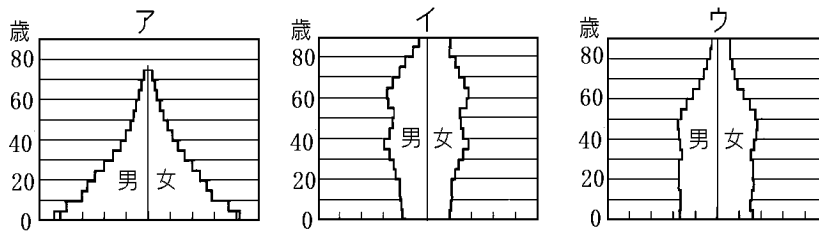
- ① アメリカやヨーロッパなど早くから工業が発達し、経済的にも豊かな国
- ② 南アジアやアフリカなどに多い、農業が中心で工業などは開発の途中にある国

[解答欄]

①先進工業国	②発展途上国
--------	--------

[問題 4]

世界と日本の人口について、あとの各問いに答えよ。



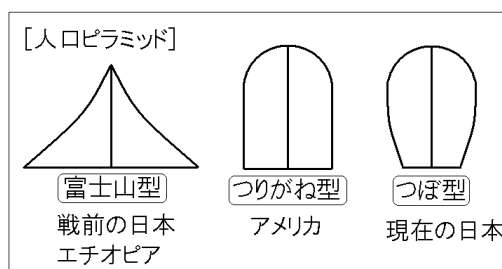
- (1) 上の資料のようなグラフのことを何というか。
- (2) 資料の A、I、U の 3 つの型の名称をそれぞれ何というか。
- (3) 次にあげる国は、A～U のどの型になるか。

- ① 日本 ② エチオピア ③ アメリカ

[解答欄]

(1) 人口ピラミッド	(2) A 富士山型	イ つぼ型	ウ つりがね型
(3) ① I	② A	③ U	

[解説]



図のような、年齢別の人口構成をあらわしたグラフを**人口ピラミッド**という。

たて軸に年齢、横軸には人口(割合)をとり、左に男性、右に女性と分ける。

出生率と死亡率がともに高い場合は、年齢が高くなるにつれ人口が減っていくため**富士山型**になる。

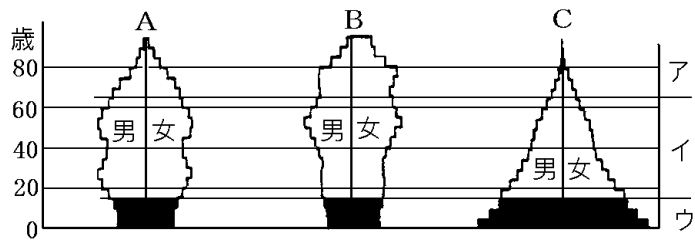
戦前の日本は、多産多死であったため、典型的な富士山型であった。また、出生率が高い発展途上国の場合も富士山型の人口ピラミッドになることが多い。問題の A はエチオピアのグラフである。

先進国は、出生率、死亡率ともに低い。出生率がほぼ一定で、一定年齢以下の死亡率が低い場合に**つりがね型**の人口構成になる。問題の U はアメリカ合衆国のグラフである。現在の日本のように、出生率が低下傾向にある国では、子どもの人口割合が低いため、人口ピラミッドは**つぼ型**になる。

(統計修正)「日本国勢図会 2013/2014」P57

[問題 5]

次の各問いに答えよ。



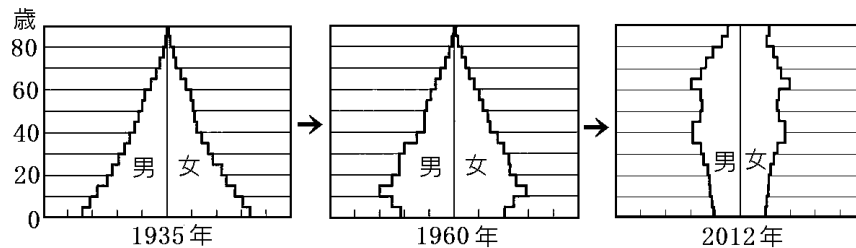
- (1) 図のような、人口の年齢別の構成を示すグラフを何というか。
- (2) 年少人口と老年人口が示す範囲を、それぞれア～ウの記号で答えよ。
- (3) 日本の人口構成の変化(古い年代順)を A～C の記号で答えよ。

[解答欄]

(1) 人口ピラミッド	(2)年少：ウ	老年：ア	(3) C→A→B
-------------	---------	------	-----------

[問題 6]

次の資料を見て、文中の①～④にあてはまる語句を答えよ。

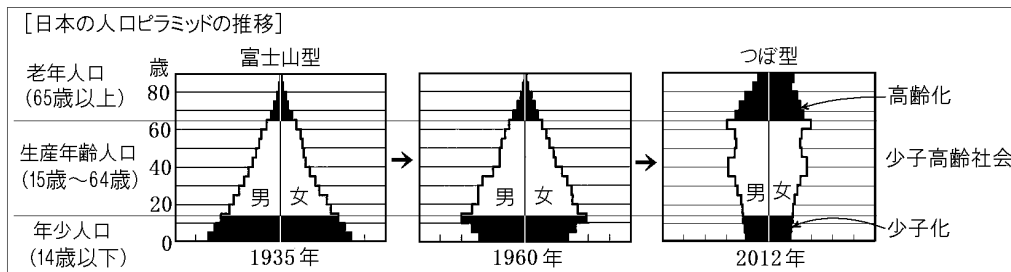


資料から、日本では 1935 年には(①)人口の多い富士山型であったが、現在は、(②)人口の割合が多いつぼ型に変化したことがわかる。総人口に占める(②)人口の割合が 7%をこえると (③)化が進んだ社会という。出生率が低下して(④)化が進んでいるのも、グラフからわかる。

[解答欄]

①少年	②老年	③高齢	④少子
-----	-----	-----	-----

[解説]



1935 年のグラフは**富士山型**である。戦前の日本では、出生率・死亡率ともに高かったので、**年少人口(14 歳以下)**が多く、**老年人口(65 歳以上)**が少ない人口構成になっていた。

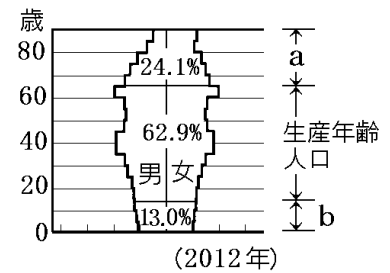
まん中の 1960 年のグラフでは、10～20 歳の人口がとくに多くなっているが、これは戦後のベビーブームの影響である。(1945 年に太平洋戦争が終わり、結婚する人が増加し、その結果出生児の数が急増した) 2012 年のグラフは**つぼ型**である。60 歳代の人数が多いが、これは戦後のベビーブームの世代が 60 歳代になったためで、**高齢化**が進んでいることがわかる。20 歳以下の人数が、年少になるほど少なくなっているが、これは**少子化**の影響である。現在の日本は、**少子高齢社会**になっている。

(統計修正)「日本国勢図会 2013/2014」P57

[問題 7]

右図は現在の日本の人口ピラミッドである。次の各問いに答えよ。

- (1) グラフ中の a で示した範囲の人口比が高くなる現象を何というか。
- (2) グラフ中の b で示した範囲の人口比が低くなる現象を何というか。



[解答欄]

(1) 高齢化	(2) 少子化
---------	---------

[解説]

[少子高齢化]	
老年人口(65歳～):増加→	高齢化
生産年齢人口(15～64歳)	
年少人口(～14歳):減少→	少子化
	↑
	出生率の大幅低下

老年人口の割合が **7%**を超えると、人口の**高齢化**が進んでいる社会といわれる。

日本では、1970 年ごろに老年人口が 7%をこえ、現在(2012 年)の老年人口は 24.1%になっている。

今後はもっと高齢化が進むと予想されている。

日本は他の欧米諸国と比較して、高齢化の進行速度が非常に速い。

また、出生率は年々低下し、いわゆる**少子化**も進んでいる。

(統計修正)「日本国勢図会 2013/2014」P57